

高等研究教育院

■ 高等研究教育院

高等研究教育院は、本学の特色ある先端研究科等の成果の還元による、大学院教育の高度化、学修化、グローバル化を推進することを目的とする、研究科横断的な組織です。学問分野・領域に共通する基礎能力の涵養を目的とした大学院教育プログラム、特定課題に関する体系的な大学院教育プログラムの開発と実施をしています。

1. 【大学院共通科目】アドバンスト・リベラルアーツ科目群（ALA 科目群）

所属研究科で身につけた専門性を社会の現場でより活かせるように、大学院生に相応しい基盤的な能力を、専門性とは別の視点から身につけることができるよう設計した科目の集まりです。すなわち、本科目群は、未来の社会の諸課題に対して、普遍的な見方から全体像を捉える能力（俯瞰力）、複数の専門知を組み合わせながらアプローチできる能力（総合力）、未来の社会を読み解く視座（創造力）、良心を支柱に未来の社会のあり方を模索する能力（提案力）を意識的に身にまとい、諸問題に対して「専門外の補助線」を引き、本質を捉え新たな課題を探り、常に挑戦する姿勢の涵養を目的とするものです。

ALA 科目群では、小人数クラスによる密接な指導を基とした知識や精神性の伝達を行います。担当教員と大学院生が議論によって切磋琢磨する授業は、まさにリベラルアーツの原点と言えます。様々な学問的背景を持つ教員、学生、社会人が共修する環境で、是非、専門的知識と専門外の知識を組み合わせ、同志社大学の学生らしい、複眼的な視野を獲得して欲しいと考えています。詳細は、ホームページに掲載の内容をご確認ください。



2. 研究科横断副専攻プログラム「Comm 5.0-AI・データサイエンスプログラム」

「Comm 5.0-AI・データサイエンスプログラム」では、次代の社会を先導する人物を養成するために、次に掲げる能力を総合的・統合的に涵養する教育課程を編成します。

- *知識・技能 IoT、ビッグデータ等の先端的情報工学の知識・技能を習得すると共に、ヒトに関する知識、ヒトの生体情報を取得する知識を習得する。実験や実習を中心に行うことで、実践的な知識・技術の獲得を目指す。
- *思考力・判断力・表現力 文理融合的な視点で未来の技術の活用方法を考察する能力を習得する。今後出現すると予想される未来技術について議論し、来るべき社会のあり方をアクティブラーニングによる演習を中心に考察する。
- *主体性・多様性・協働性 プログラム担当教員とプログラムの連携機関が密接に連携して行う共同研究を大学院学生の鍛錬の場として設計する科目を開発し、主体的に研究を進める中で、今後の社会動向やニーズを自ら考える能力を涵養する。

【大学院共通科目】アドバンスト・リベラルアーツ科目群（ALA 科目群）			研究科横断 副専攻プログラム
グローバル・リソース・マネジメント（GRM）コース	「次の環境」協創コース	サイエンスコミュニケーションコース	Comm 5.0 - AI・データサイエンス副専攻プログラム
・困難を克服するための「知恵」の獲得 ・大学院レベルの高度なリテラシーの獲得 ・専門分野の壁を越え、英語で学ぶ	・自然科学と人文社会科学の融合 ・「大学」と「企業」の壁を越えた社会人との共修 ・社会実装を見据えたイノベーションの具現化	・科学技術に関する基礎的知識と、その社会的背景を理解 ・科学と社会の関係性やコミュニケーションの枠組みを学ぶ ・科学的情報をわかりやすく伝えるスキルの修得 ・科学的情報発信の実践力強化	・Society 5.0における新たなCommunicationとCommunityの在り方を考察する ・先端的情報工学技術の活用を学ぶ ・社会と連携した研究活動の実践
詳細はホームページに掲載の内容を確認してください。	詳細はホームページに掲載の内容を確認してください。	詳細はホームページに掲載の内容を確認してください。	本プログラムからALA科目群へ提供している科目は全大学院生が履修可能ですが、本プログラムを履修可能な研究科・専攻は限られています。詳細はホームページに掲載の内容を確認してください。
			

I. GRMコースの科目履修およびコース修了

1. 履修方法

博士課程の前期課程・後期課程に所属する全大学院生に履修資格がありますが、修得した単位の取扱いは、研究科毎に異なります。多くの研究科で課程修了に必要な単位に算入されますが、算入の可否、算入単位の上限等は、所属する研究科の履修要項で確認し、履修計画を立ててください。

登録はシラバスを確認のうえ、所定の履修科目登録期間に DUET で行います。

なお、「On-site Group Work」は海外での実習を伴うため10名程度の定員とし、登録者が多い場合には選考を行います。選考により履修できなくなった場合には、同時履修が必要な「On-site Group Work Introduction」と併せて、大学が登録を削除します。選考は4月中に実施されるため、削除された4単位分は、秋学期に登録追加してください。

2. コース修了（コース登録・修了要件）

コース修了には、必修科目を含む10単位の修得が必要です。

GRM科目の履修者にはコース修了の希望を調査し、修了希望者を「コース履修生」として登録します。コース履修生は DUET のメニュー「その他教育プログラム」にある「グローバル・リソース・マネジメント」から、コースの科目一覧や履修状況（履修年度や成績など）を確認することができます。

コース履修生を対象に修了判定を行い、コース修了者には修了証を授与します。また、学修歴のデジタル証明であるオープンバッジ発行について案内します。

Ⅱ.2026年度 開講科目一覧(2025年度以降生用)

選択 / 必修	科目コード	クラス	科目名	担当者	単位	学期	校地
必修	35650600	000	On-site Group Work Preparation	大西 有子	2	春(集中)	今出川
	35650601	000	On-site Group Work	大西 有子	2	春(集中)	今出川
	35650651	000	Seminar for Advanced Liberal Arts	大西 有子 内藤 正典	2	秋(集中)	今出川
選択	35650611	000	Resource Management for Coexistence and Cultural Diversity	大西 有子 小山田英治 稲葉 稔 長岡 直人 中川 正夫 八木 匡 濱 真一郎	2	春	オンライン
	35650621	000	Mathematics and Physics as Liberal Arts	Camille-faith PASCUA ROMERO	2	春	オンライン
	35650622	000	Infrastructure Design for Human Communities	Camille-faith PASCUA ROMERO	2	秋	オンライン
	35650623	000	Environmental Earth Science as Liberal Arts	大西 有子	2	秋(集中)	今出川
	35650624	000	Global Resource Management: Interdisciplinary Approach 1 -Climate Change-	大西 有子	2	春(集中)	オンライン
	35650634	000	Global Resource Management: Interdisciplinary Approach 2 -Transdisciplinary Research Methods-	大西 有子	2	秋(集中)	今出川
	35650625	000	Global Resource Management and Sustainable Development Goals 1	大西 有子	2	春	今出川
	35650635	000	Global Resource Management and Sustainable Development Goals 2	大西 有子	2	秋	オンライン
	35650631	000	Global Resource Management and International Relations	(休講)	2		
	35650632	000	Research Methods of Social Sciences	(休講)	2		
	35650633	000	Global Society in the Modern World	小山田英治	2	秋(集中)	今出川
	35650641	000	GRM Topics 1 -Natural Hazards and Disaster Management-	松川 杏寧	2	春(集中)	今出川
	35650642	000	GRM Topics 2 -Topics in Mathematics for Information and Data Sciences-	徳山 豪	2	春(集中)	今出川
	35650643	000	Capacity Development for Coexistence and Cooperative Works	西川由起子	2	春(集中)	今出川
	35650644	000	Introductory Laboratory of Infrastructures	池田 陽紀	2	秋	京田辺

- ・全科目とも配当年次は「M1～」です。
- ・授業は英語で行われますが、履修生の語学力を考慮して、部分的に日本語で行われることもあります。
- ・履修生の通学校地のバランス等により校地を変更する可能性があります。
- ・集中講義以外の教室で行われる科目について、オンデマンド配信の授業（1週目の DO Week 等）の有無はシラバスで確認してください。配信授業がない場合は科目担当者が別途、日程を設定します。
- ・「On-site Group Work」は「On-site Group Work Introduction」と同時履修が必要です。
- ・「Introductory Laboratory of Infrastructures」は実習科目のため週4時間。その他の科目は週2時間です。